

倫理審査申請書

富山赤十字病院倫理委員会
委員長 清水 一夫 殿

申請者名 南 雅美



所 属 健診部

職 名 部長

※ 受付番号 276

1. 課 題 名	人間ドック健診の有用性に関する大規模研究	
2. 主任研究者	所属・職・氏名	健診部長 南 雅美
3. 分担研究者	所属・職・氏名	健診部医師 仙田聡子
4. 研究等の概要	<p>本研究は平成29・30年度分の基本検査項目データの性・年齢別解析と人間ドックは、慢性腎臓病の発症抑制に寄与しているのか、人間ドックは心房細動の発症抑制に寄与しているのか、人間ドックの有用性を問うことを目的としている。人間ドック学会の倫理委員会の承認（別紙 0014、0015）も受けており、当院は人間ドック学会の健診施設機能評価認定施設でもあり、協力を依頼された。</p>	
5. 研究等の対象及び実施場所	<p>2017年4月～2019年3月の人間ドックを受けた ID、性別、年齢、健診日、検体検査、生体検査、特定保健指導質問項目などを抽出し、匿名化し媒体で日本人間ドック学会に送付する。人間ドック学会で、提出されたデータを元に分析をおこない結果がフィードバックされる。</p>	
6. 研究等における医学的倫理的配慮について（（1）～（3）は必ず記載のこと）	<p>（1）研究等の対象とする個人の人権擁護 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従う。</p> <p>（2）研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 健診問診票への標記（別紙2）、院内掲示・当院のウェブサイトにも掲示しオプトアウトの機会を提供する。</p> <p>（3）研究等によって生じる個人への不利益並びに危険性と医学上の貢献の予測 本研究は、当院の既存データ・情報を匿名化し、他の研究機関へ提供するものであり、個人への不利益、危険性はないと考える。この研究は人間ドック受診者の現状を知り、人間ドックの有用性を検討することを目的とする。</p>	